



第58回東海学術大会愛知大会

11月23日(日)午前9時30分から午後3時まで、中区役所ホール(A会場)及び名古屋市民ギャラリー栄(B・C・D会場)にて、公益社団法人日本柔道整復師会第58回東海学術大会愛知大会が開催され213名が参加した。

開会式に続き、公益社団法人日本柔道整復師会 徳山 健司学術教育部長、小野 博道日整学術教育部長が講演した。

研究発表：本会からは篠田 一英会員(岡崎)が「肩関節後方脱臼の1症例」と題して発表した。

特別講演(県民公開講座)：『肩肘のスポーツ障害』と題し、名古屋市立大学整形外科講師 名古屋市立大学病院整形外科 肩・肘スポーツ外来医師 武長 徹也先生をお招きして特別講演が行われた。

並行して、B会場では、『ワークショップ』匠の技プロジェクトが、D会場では、「短期集中予防型サービスの報告」が、動画紹介と倉橋介護部長からの口頭説明で行われた。

最後に、A会場にて会員研究発表者表彰が行われ、次年度主管県となる岐阜県柔道整復師会 杉江拓郎会長の閉会の辞で閉会となった。
(学術部長 西村 武蔵)



篠田 一英会員



武長 徹也先生

第43回赤十字「NHK 海外たすけあい」

12月13日(土)第43回赤十字「NHK 海外たすけあい」街頭募金活動(特別奉仕団13団、総勢約50名)が、名古屋駅前でおこなわれた。本会も長年にわたりこの活動に参加してきたが、本年度は私と橋本 義弘事業部員の2名が参加した。

今回の募金で集められた募金は、中東地域などで長期避難を余儀なくされている方々への医療支援、自然災害の被害者支援、病気で苦しむ人々への支援など、赤十字が実施する多様な国際支援に活用される予定である。

私自身、本会を代表して初めて街頭募金に立ち、募金をしてくださる際の短いやり取りの中にも人ととのつながりを感じることができ、多くの方々の善意に触れる貴重な機会となり、厳しい寒さの中でありながら心温まる時間を過ごすことができた。
(事業部長 斎藤 穎)



連盟活動

12月15日(月)『衆議院議員丹羽ひでき政経セミナー2025』に藤川委員長、石川副委員長、河合委員にて参加した。

本会顧問でもある丹羽 秀樹先生と政治ジャーナリスト角谷 浩一氏の対談形式のセミナーであり、大変分かりやすく国政の現状を解説された。『新しい時代の政治家』というワードが心に残った。
(愛知県柔道整復師連盟 副委員長 石川 益郎)



県議会にて「医療機関等物価高騰対策支援金」採択

国からの物価高騰に係る地方交付金について、11月28日(金)に補正予算が閣議決定されたことを受けて、厚生労働省から「医療・介護等支援パッケージ」及び「重点支援地方交付金」の双方の活用について事務連絡が発出されたことで、愛整会として早速、愛知県知事に「物価高騰対策支援」の要望書を提出致しました。

12月18日(木)の県議会において、「医療機関等物価高騰対策支援金」が計上され、採択をいただきました。その結果、私達施術所に対し、「光熱費高騰分への支援」で48,000円、「診療経費等の高騰分への支援」の部分で、51,000円の合計99,000円の支援を頂くことが決定致しました。

この度の要望にあたり、本会顧問の、久保田 浩文県議会議員、寺西 瞳県議会議員の両先生に大きなお力添えをいただきました。

同日早速、大村知事には県議会終了後の大変お忙しい中でお時間を作っていただき、愛知県公館へ久保田先生、寺西先生、私、石川、河合両副会長の5名で、御礼の挨拶に伺わせていただきました。支援金の受給に関しましては、決定次第会員の皆様に連絡を致します。
(会長 藤川 和秀)

